

|             |   |
|-------------|---|
| Title       | 表紙・編集後記・目次  |
| Author(s)   |   |
| Citation    | 英文学評論 (1971), 27  |
| Issue Date  | 1971-03   |
| URL         | <a href="http://hdl.handle.net/2433/135049">http://hdl.handle.net/2433/135049</a> |
| Right       |   |
| Type        | Others  |
| Textversion | publisher   |

# 英文學評論

## 第 XXVII 集

OE *Apollonius of Tyre*..... 佐々部英男

『間違いの喜劇』..... 小島啓邦  
——『メナエクス兄弟』『アムピトルオ』との比較——

ポーブ前期の技法(1)..... 酒井幸三  
——アレゴリーとその周辺——

ピンターの形式感覚..... 鳴原真一

京都大学教養部英語教室

# 目次

|                                    |          |
|------------------------------------|----------|
| OE <i>Apollonius of Tyre</i> ..... | 佐々部英男(一) |
| 『間違いの喜劇』.....                      | 小島啓邦(一六) |
| ——『メナエクス兄弟』『アムピトルオ』との比較——          |          |
| ポープ前期の技法(一).....                   | 酒井幸三(四五) |
| ——アレゴリーとその周辺——                     |          |
| ピントーの形式感覚.....                     | 嶋原真一(六〇) |

## 編集後記

☆本号は今年度の第二冊目、何年ぶりのことか、年に二度という規定を  
実行することはできたものの、頁数の点で、いささか厚味にかけるとい  
う体裁になってしまった。この不手際の責は編集委員にある。とはい  
え、O田からピンターまでにわたるここに集められた四篇の論文自体  
が、期せずして、英語教室員の文学研究の厚味の一端を何よりも実証す  
ることとなった。

☆ところで、過日、『英文学評論』のバック・ナンバーをくっっていると、  
第十五号の編集後記に、古稀をお迎えになられた教室の先達、山本修二  
・小林象三の両先生のこと言及されてあった。そして七年、このほど  
両先生ともめでたく喜寿を迎えられ、なおも矍鑠として御活躍である。  
教室では、去る三月十七日、両先生の喜寿を祝って宴を開き、小林先生  
はよんどころない事情のため御欠席であったが、御出席の山本先生を囲  
んで、こころ愉しき一夕をすごした。

☆教室員の情報であるが、尾形敏彦助教授が昨年の四月に、増山学助教  
授が、この三月に、それぞれ教授に昇任された。

(編集委員)

## 英文学評論 第二十七集

非 売 品

昭和四十六年三月三十一日 発行

編集者 京都大学教養部英語教室

代表者 角 倉 康 夫

印刷所 株式会社 印刷 同 朋 舎

発行所 京都大学教養部英語教室

京都市左京区吉田一本松町

# REVIEW OF ENGLISH LITERATURE

Volume XXVII March 1971

---

## CONTENTS

*OE Apollonius of Tyre* ..... *Hideo Sasabe*

*The Comedy of Errors* ..... *Hirokuni Kobatake*

Pope's Early Poetry (1) ..... *Kôzô Sakai*

Pinter's Sense of Form ..... *Shinichi Shigihara*

---

ENGLISH DEPARTMENT  
COLLEGE OF LIBERAL ARTS  
KYOTO UNIVERSITY